



発行所 農経新報社
編集発行人 本多 秀彦
本社 〒113-0033 東京都文京区本郷1-35-28
電話 03(3815)0211(代)
FAX 03(3815)0265
支社 〒530-0001 大阪府北区梅田1-11-4-1100
電話 06(6341)021(代)
FAX 06(6341)1023
00110-0-5752
振替口座 15,230円
購読料 1ヶ月 15,230円

10月 から 植物工場野菜の認証スタート

人工光型植物工場の生産物が、第三者機関から「安全・安心」(メリット(葉物なし))、「再現性」の評価・認証を受け、TPAC PPS(ティパックピーエス)ロゴを付けて10月から市場流通を開始。9月19日、大阪市内で開催された特別セミナー「植物工場野菜の第三者評価」の冒頭、付加価値の高い生産物として差別化できるメリットが指摘された。大阪府立大学・村瀬教授の講演要旨と第三者認証制度の概要、認証取得に取り組んだ企業の評価を紹介する。

村瀬教授の講演要旨
その評価がしやすい、安全を担保する技術がある。

TPAC PPS

今日お話しする閉鎖型植物工場は、汚染されたチリが空気中にあっても入ってくるのがない、水も水道水など入口のところでチェックできる。物の出入りを管理することができ、扱いやすいシステムです。



井上理事
「第三者認証は、一定の基準で管理生産された植物工場野菜が、露地や善液栽培で生産された野菜と明確に区別できる可能性がある点は大きなメリット。それと定期的に農薬検査、細菌検査、セシウム(放射性物質)の検査をして表記することで消費者にTPAC PPSで認知された野菜は、安全、安心な野菜であることを生産する側が明確にアピールする方法として有効な手段」と、審査を受けるに当たって「安全を担保する新しい仕組み」として登場した。

安全、安心を評価

評価委員長に 北大野口教授 第三者機関がグレード授与
大阪・特別紹介
「植物工場野菜の生産物は、安全、安心な野菜であることを生産する側が明確にアピールする方法として有効な手段」と、審査を受けるに当たって「安全を担保する新しい仕組み」として登場した。

第三者評価のシステム
第三者評価のシステムには、この評価を受けた野菜が市場に出回ります。人工光型植物工場は、地産地消、周年栽培が得意な作物を必要とする。先に必要なものを生産することができ、先物取引のような

第三者評価のシステム
第三者評価のシステムには、この評価を受けた野菜が市場に出回ります。人工光型植物工場は、地産地消、周年栽培が得意な作物を必要とする。先に必要なものを生産することができ、先物取引のような

第三者評価のシステム
第三者評価のシステムには、この評価を受けた野菜が市場に出回ります。人工光型植物工場は、地産地消、周年栽培が得意な作物を必要とする。先に必要なものを生産することができ、先物取引のような

第三者評価のシステム
第三者評価のシステムには、この評価を受けた野菜が市場に出回ります。人工光型植物工場は、地産地消、周年栽培が得意な作物を必要とする。先に必要なものを生産することができ、先物取引のような

第三者評価のシステム
第三者評価のシステムには、この評価を受けた野菜が市場に出回ります。人工光型植物工場は、地産地消、周年栽培が得意な作物を必要とする。先に必要なものを生産することができ、先物取引のような

TPAC PPS logo and text: 植物工場の生産物 生産システムを、第三者機関が評価・認証!
詳しくはホームページで http://tpac.jp/

会 Third Party Accreditation Committee on Products and Products System (略)のロゴ、大阪府立大学植物工場研究センター内レタス生産室(大阪府堺市・フルレタス)、徳寿工業植物工場新田研究所(香川県高松市・セラマ)に、エスベックミックス和泉ボ植物工場栽培(www.tpac.jp)の3者が受審し、現在認証の検証中だ。

第三者認証
第三者認証
第三者認証
第三者認証
第三者認証
第三者認証
第三者認証
第三者認証
第三者認証
第三者認証